

使用レジストレーションメニュー

5 -02-16:ファンタジーワールド

プリセット Preset

	ボイスディスプレイ ◀1▶	ボイスディスプレイ ▶2▶	リズム	フットスイッチ(レフト)	
	ボイスディスプレイ ◀1▶ 上鍵盤1 : アルト&オボI ON リード1 : ストリングス3&4 ON 下鍵盤1 : ピッチスト2 ON ペダル1 : テンパニ2 ON	ボイスディスプレイ ▶2▶ 上鍵盤2 : 木管ブ"Str3 OFF リード2 : トランペット 9 ON 下鍵盤2 : トロンボーンSec4 ON ペダル2 : テンパニ 2 OFF	マーチ/10:アニメ ファンタジー メイン/フィルイン C	フットスイッチ(レフト) ◀3▶ 設定 127 X17 C	テンポ=128

レジスト作成 Making Registration

■ =変更なし

	ボイスディスプレイ ◀1▶	ボイスディスプレイ ▶2▶	リズム	フットスイッチ(レフト)	
M1	ボイスディスプレイ ◀1▶ 上鍵盤1 : アルト&オボI ON リード1 : ストリングス3&4 OFF 下鍵盤1 : ピッチスト2 ON ペダル1 : ピッチトBa 1 ON	ボイスディスプレイ ▶2▶ 上鍵盤2 : 木管ブ"Str3 OFF リード2 : トランペット 9 ON 下鍵盤2 : トロンボーンSec4 ON ペダル2 : テンパニ 2 ON	テンポ=115に 変更 フィルインメモリー C(点滅)		・リズム・ACC(アカンパニメント)のリバーブを20に変更
M2	ボイスディスプレイ ◀1▶ 上鍵盤1 : アルト&オボI ON リード1 : ストリングス3&4 ON 下鍵盤1 : ピッチスト2 ON ペダル1 : ピッチトBa 1 ON	ボイスディスプレイ ▶2▶ 上鍵盤2 : クロック 2 ON リード2 : トランペット 9 OFF 下鍵盤2 : トロンボーンSec4 ON ペダル2 : テンパニ 2 ON	C(点灯)	メイン A	U.K.2→パーカッションボタン/07:クロック 2に変更
M3	ボイスディスプレイ ◀1▶ 上鍵盤1 : アルト&オボI OFF リード1 : ストリングス3&4 OFF 下鍵盤1 : ピッチスト2 OFF ペダル1 : テンパニ 2 ON	ボイスディスプレイ ▶2▶ 上鍵盤2 : クロック 2 ON リード2 : トランペット 9 ON 下鍵盤2 : トロンボーンSec4 ON ペダル2 : テンパニ 2 ON	A(点灯)	メイン C	・ペダル1→テンパニボタン/02:テンパニ 2に変更 ・ペダル2→[16'](フィート)& 下鍵盤▲ボタン ON ・ACC ボリューム→0に
M4 ※M1 より 変更	ボイスディスプレイ ◀1▶ 上鍵盤1 : アルト&オボI ON リード1 : ストリングス3&4 ON 下鍵盤1 : ピッチスト2 ON ペダル1 : ピッチトBa 1 ON	ボイスディスプレイ ▶2▶ 上鍵盤2 : 木管ブ"Str3 ON リード2 : トランペット 9 ON 下鍵盤2 : トロンボーンSec4 ON ペダル2 : テンパニ 2 ON	フィルインメモリー D(点滅)	メイン D	・U.K.2を[8']に変更 ・ABCモード:カスタムABCに変更 ・MOCモード:ON ・ペダルメモリー:ON
M5	ボイスディスプレイ ◀1▶ 上鍵盤1 : アルト&オボI ON リード1 : ストリングス3&4 ON 下鍵盤1 : ピッチスト2 ON ペダル1 : テンパニ 2 ON	ボイスディスプレイ ▶2▶ 上鍵盤2 : 木管ブ"Str3 ON リード2 : トランペット 9 ON 下鍵盤2 : トロンボーンSec4 ON ペダル2 : Strs&7"722 ON	リズムパターン マーチ/11: ギャラクシーシップ に変更	エンディング 2	・ペダル1→テンパニ 2 ・ペダル2→トゥッチイホ"タン/03:St&プラス 2に変更

Let's Try! "ACC (アカンパニメント) のリバーブ"を変更する。

- 手順 ① パネルの選ばれているリズムボタンを2回押す。ここでは[マーチ]ボタン。
② [D]ボタンを押し、データコントロールダイヤルで20に変更。

リズム	アニメファンタジー	◀1▶	
パーカッション ボリューム	19		<input type="checkbox"/> A
パーカッション リバブ	12		<input type="checkbox"/> B
アカンパニメント ボリューム	18		<input type="checkbox"/> C
アカンパニメント リバブ	20		<input checked="" type="checkbox"/> D

アレンジのジャンル

ポップスオーケストラ・レジメに用意されている音色を変更して、更に豪華になるようアレンジしました。

演奏上のポイント

メロディーのアーティキュレーションをしっかり意識して、軽快に演奏しましょう。転調の部分は厚く盛り上がるように、タッチトーンも使うとよいですね。

大木 裕一郎